タイトル

「

所属技士会名：

会社名：

主執筆者 名前： （役職　　　　　　　　役職は空欄でも可）

共同執筆者1 名前： （役職

　　〃　　 2 名前： （役職

**※図表については、以下のように表示すること**

１．はじめに

できるだけ省略し、本文量を多く

工事概要

(1) 工事名　：□□□

(2) 発注者　：□□□□

(3) 工事場所：□□

(4) 工　期　：

２．現場における問題点

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

３．工夫・改善点と適用結果

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

４．おわりに

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

　　図－１

図と写真は、ともに図番号とキャプションをつけ図の下に表示

（写真も図とみなします）

表は、表の上に、番号を表示する

表－１

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※図や写真、データなどを他から引用した場合は、その出典を明記してください。

**要　旨**100～200文字程度（2～5行）

例を参考に、どのような課題に対してどのような工夫をして解決したか、を簡潔に下枠にお書き下さい。

例1　長大かつ大断面トンネル掘削工期の短縮のために、ドリルジャンボの削孔機のフィード長を延長し、掘進発破からロックボルト工へ移る際のロッド交換を不要にして、ロッド交換によるサイクルロスを排除したことなどにより大幅に工期を短縮した。

例2　　湾岸道路高架橋の下部工橋脚をニューマチックケーソンで施工するにあたり、仮設桟橋の構築に鋼管杭工法と鋼殻吊降し工法の当初設計から袋詰め根固め工法に変更したことで経済性・品質・安全性・施工性をアップさせ、計画時の問題を解決した。

要旨）